

Life Style

第2節 新しいライフスタイルを求めて

心と暮らしに豊かさを 好きなこと、始めたい！



心の豊かさやゆとりある生活の志向

現代は豊かで、モノがたくさんあふれている。「ものの豊かさ」を手中にした今、人びとの関心は「心の豊かさ」へと移っているようだ。

「これからは心の豊かさや、ゆとりのある生活をするのに重きをおきたい」という人は市民の67%。暮らしのなかで喜びや生きがいを感じるのは、①趣味やスポーツ45%、②家族との関らん40%、③友達とのつきあい33%、という順番。このベスト3は、世代別でもほとんど変わらない。40代の3位に「仕事」が顔をのぞかせ、モータリ世代の責任感を感じさせるくらい。20代では半数以上の人が、趣味・つきあいに喜びや生きがいを感じているが、30代となると半数を超えるのは「家族」へと変わっていく。

また「何かに挑戦したい」という新しいものへの意欲は若い人ほど強く、全体では68%。「社会の役に立ちたい」と思うことがある人は40代が多いが、全体でも74%とかなり高い。

新しいものに挑戦したり、社会に奉仕したり、心を豊かにする方法はたくさんある。

趣味やスポーツで過ごす充実した時間

趣味の講座やスポーツ教室は花盛り。やってみようかなと思えば、今は何でも気軽に始められる。市の調査では、若い人はどちらかと言えば「いろいろやってみる多趣味派」、年齢の高い人は「一つの趣味をじっくり派」のようだ。また好きな趣味やスポーツを世代別に見ると、20代はテニス・スキー・音楽鑑賞、30代からはゴ



横浜市立大学主催の市民講座「日本経済を考える」。夜間のため、男性の出席者が多い。

市民データ

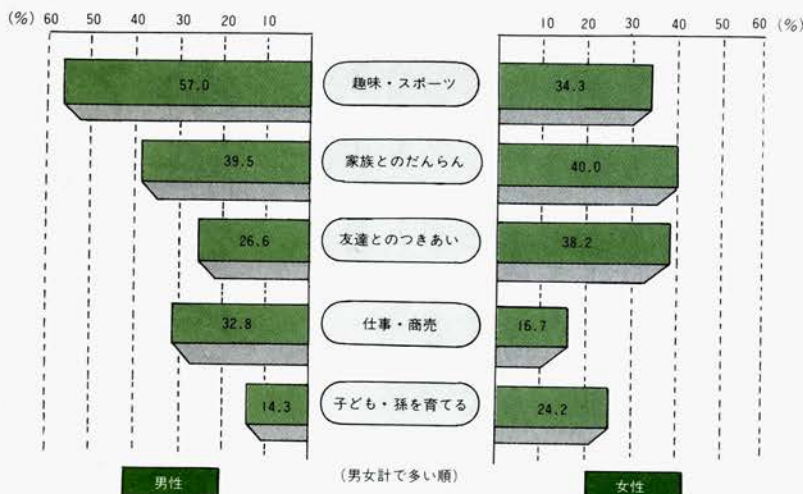
- カルチャーセンターや教養講座へ積極的に行く人は全体で **10%**
 - 男性7%に対し女性13%と女性が多い
 - 年代別では50代が最も多く **13%**
- スポーツクラブ・サークルに入っている人 **21%**
 - 男性25%に対し女性18%と男性が多い
 - 20代が最も多く **34%**
- 音楽・演劇・工芸などの文化サークルに入っている人 **9%**
 - 男女はほぼ同数で、40代以上が多い

ルフ、50代から旅行・園芸、70代でスポーツ観戦というのが特徴的。

年齢が高くなるにつれ、手芸や読書など家庭内で楽しめるものが好まれるようだが、注目されるのは「旅行」。も上位に入ってくる。60代の6割以上が年に2回は宿泊旅行をし、また今までに海外旅行をしたことのある人も4人に

Life Style

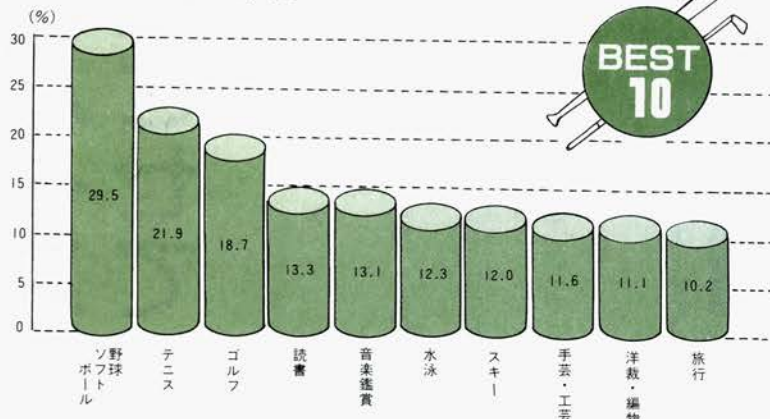
■生きがいは趣味・スポーツや家族のだんらん



1人と若者に負けていない。
学び、習う喜び
あれ習ってみたい、これやってみようか、そんな意欲と時間があれば大人になってもずっと学ぶ、というのが「生涯学習」。この言葉を知っている人は57%とまだ少ない。
これまでに学習の経験のある人は71%だが、

横浜市「市民意識調査」(昭和62年度)

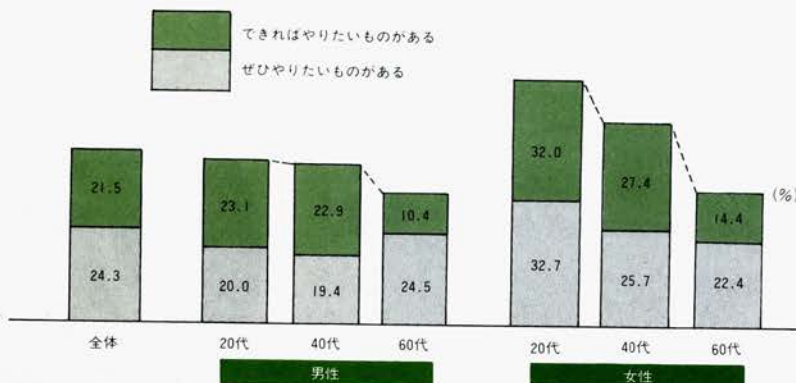
■好きな趣味・スポーツベスト10



横浜市「市民の日常生活に関する調査」(昭和62年度)

現在やっていますという人は26%にとどまっている。始めたきっかけは、「友達や家族にすすめられて」と「以前からやりたかった」が同じくらい。子どもの頃の習い事などは、前者の代表格だろう。やってみると、新しい趣味や楽しみが増えたり、新しい友人ができたりと、得るところは少なくないようだ。

■男性は退職後に、女性は若いうちに「せび」やりたいことがある



横浜市「横浜市民の学習と生活意識調査」(昭和60年度)

そして、これからやりたいことが具体的にある人は46%。「せび」やりたいことがある、という人は男性は60代、女性は20代に多い。男性は退職後、女性は未婚のうちに、ということだろう。どちらも内容は「趣味」「スポーツ」のほか、「外国語」「職業関係」などと多彩で、多様化といわれる社会の一端をのぞかせる。